

参加者確認公募 募集要領

令和 7 年度環境放射線等モニタリング調
査等業務

環 境 省

令和 7 年度環境放射線等モニタリング調査等業務に係る参加希望書類の募集要領

1 総則

令和 7 年度環境放射線等モニタリング調査等業務に係る参加者確認公募の実施については、この要領に定める。

2 業務概要

(1) 業務名

令和 7 年度環境放射線等モニタリング調査等業務

(2) 業務内容等

別添仕様書のとおり。

(3) 履行期限

令和 8 年 3 月 31 日

3 応募要件

(1) 基本的要件

- ① 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- ② 予算決算及び会計令第 71 条の規定に該当しない者であること。
- ③ 環境省大臣官房会計課長から指名停止措置が講じられている期間中の者でないこと。
- ④ 別紙において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約できる者であること。

(2) 技術力に関する要件

本業務を請け負う者は、分析結果の信頼性を確保するため国際規格である ISO9001 の認証並びに ISO/IEC17025 の認定を受け、IAEA などの国際機関が主催する環境放射能分析の国際相互比較分析のプログラムに参加した者であり、以下の要件を満たす者であることとする。

- ① 採取した試料（大気浮遊じん、降下物等）について、 α 濃度及び β 濃度による空地中放射能濃度測定・分析並びに放射能測定法シリーズ No. 7「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」（令和 2 年改訂）に基づく γ 線スペクトロメトリーによる測定・分析ができる能力を有すること。

なお、当該 γ 線スペクトロメトリーによる測定・分析は、 γ 線スペクトロメトリーによって測定できる全ての核種について測定・分析が可能であること。

- ② 採取した試料（大気浮遊じん、降下物等）について、放射能測定法シリーズ No. 2「放射性ストロンチウム分析法」（平成 15 年改訂）および同シリーズ No. 3「放射性セシウム分析法」（昭和 51 年改訂）に基づく放射化学分析を実施する能力を有すること。
- (3) 業務実施体制に関する要件
本業務を請け負う者は、以下の要件を満たす者であることとする。
常時監視業務により得た測定・監視結果を評価するに当たり、下記の項目を踏まえた上で、実施できる体制を有すること。
- ① 空間放射線（ γ 線）線量率の 24 時間連続測定及び監視業務を実施し、これらの測定・監視結果について、評価（過去のデータや周辺で実施されている同様の測定によるデータとの比較等）する能力を有し、その結果を、発注者の要求に応じて報告できる体制を有すること。
- ② ①の他、これまでに蓄積された測定・分析結果について、過去の測定結果と比較して、傾向を把握した上で、その傾向の範囲内であるかどうかを確認するための評価を実施し、発注者の要求に応じて報告できる体制を有すること。
- ③ 原子力規制庁が実施する環境放射能水準調査の測定結果を利用して、過去の測定結果と比較して、傾向を把握した上で、その傾向の範囲内であるかどうかを確認する評価を実施するための体制を有していること。
- (4) 業務実績に関する要件
本業務を請け負う者は、以下の要件を満たす者であることとする。
- ① 広域にわたる複数の測定地点において、複数の測定機器による満 3 か年以上の継続的な放射線及び放射性物質の常時監視業務を行った実績を有すること。
- ② 原子力事象等が発生した場合、政府等からの要請に基づく緊急時対応を行った実績を有すること。
- 4 参加希望書類の募集に関する質問の提出先及び回答
この参加者確認公募募集要領、添付資料等に関する質問がある場合は、次に従い、別記様式 1 による書面を提出すること。
- (1) 提出先
東京都千代田区霞が関 1-2-2（中央合同庁舎第 5 号館 2 4 階）
環境省大臣官房会計課契約第一係
TEL：03-3581-3351 内線 6049
- (2) 提出方法
持参、郵送又は電子メール（KEIYAKU@env.go.jp）により提出すること。
なお、電子メールで提出した場合には、環境省に提出した旨を連絡すること。
- (3) 受付期限
令和 7 年 2 月 17 日（月）16 時 00 分まで
（持参の場合は 12 時～13 時を除く）

(4) 回答方法

令和7年2月18日(火)までに環境省ホームページの「申請・手続き」
>「調達情報」>「入札等情報」>請負業務「参加者確認公募(役務)」>「本件」の「公示」の下段に掲載する。

5 提出書類、提出期限等

(1) 提出書類

令和7年度環境放射線等モニタリング調査等業務に係る参加希望書類
(別添様式参照)

(2) 提出期限等

① 提出期限

令和7年3月4日(火) 16時00分

② 参加希望書類の提出場所及び作成に関する問合せ先

4(1)に同じ。

(3) 書面による提出の場合

① 提出方法

持参又は郵送(提出期限必着)による。

郵送する場合は、書留郵便等の配達記録が残る方法に限る。

② 提出部数

5部

③ 提出場所

4(1)に同じ。

(4) 電子による提出の場合

① 提出方法

電子ファイル(PDF形式)により、電子メール*1で送信、又は
DVD-ROM等に保存して持参又は郵送*2で提出すること。電子メール
で提出した場合には、環境省からの受信連絡メールを必ず確認すること。

*1 電子メール1通のデータ上限は7MB(必要に応じ分割すること)

*2 郵送の場合は、書留郵便等の配達記録が残るものに限る。

② 提出場所

電子メールの場合: KEIYAKU@env.go.jp

DVD-ROM等の持参又は郵送の場合: 4(1)に同じ

(5) 提出に当たっての注意事項

① 持参する場合の受付時間は、平日の10時から16時まで(12時~
13時を除く)とする。

② 郵送する場合は、封筒に「令和7年度環境放射線等モニタリング調査
等業務に係る参加希望書類在中」と朱書きすること。

③ 提出期限までに到達しなかった参加希望書類は、無効とする。

④ 提出された参加希望書類は、その事由の如何にかかわらず、提出期限
以降は差替え又は再提出を行うことはできない。

⑤ 提出された参加希望書類は、返却しない。

⑥ 提出された参加希望書類は、提出者に無断で、参加希望書類の審査以

外の目的には使用しない。

⑦ 虚偽の記載をした参加希望書類は、無効とする。また、虚偽の記載をした者に対して指名停止を行うことがある。

⑧ 参加希望書類の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

6 暴力団排除に関する誓約

当該業務に係る参加希望書類については、別紙において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約した上で提出すること。また、提出書類に誓約事項に誓約した旨を明記すること。

7 人権尊重の取組について

本調達に係る参加希望者及び契約者は、『責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン』（令和4年9月13日 ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議決定）を踏まえて人権尊重に取り組むよう努めること。

8 参加希望書類の審査

- (1) 環境省において、提出された参加希望書類に基づき、当該参加希望書類の提出者が3に定める応募要件を満たしているか否かについて審査し、その結果を参加希望書類の提出者に対して通知する。
- (2) 審査に当たっては、参加希望書類の記載内容について提出者に問い合わせることがあるので、参加希望書類提出後、(1)の通知までは、問い合わせに適切に対応できるようにすること。提出者が問い合わせに応じないとき、又は提出者と連絡が取れないときは、応募要件の確認ができないため、応募要件を満たさないと判定することがある。
- (3) 審査の結果、応募要件を満たすと認められる者が一しかない場合にあつては、当該応募者との契約手続に移行し、応募要件を満たすと認められる者が複数いる場合にあつては、一般競争入札手続（総合評価落札方式）に移行することとする。

9 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 関連情報を入手するための照会窓口
4(1)に同じ。
- (3) 令和04・05・06年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等」の「調査・研究」又は「その他」の認定を受けていない者であっても、参加希望書類を提出することができるが、その者が3に定める応募要件を満たすと認められ、一般競争入札手続（総合評価落札方式）に移行した場合には、開札時まで当該資格の認定を受ける必要がある。ただし、令和07・08・09年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の「調査・研究」又は「その他」の資格を引き続き取得

すること。

- (4) 契約締結日までに令和7年度の予算（暫定予算を含む。）が成立しなかった場合は、契約締結日は、予算が成立した日以降となる。

また、暫定予算となった場合、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする場合がある。

◎添付資料

(別添)	仕様書
(参考)	契約書（案）

(別記様式1)

質問書

業 務 名	令和7年度環境放射線等モニタリング調査等業務	
会 社 名		
住 所		
担 当 者	部署名：	氏 名：
担当者連絡先	T E L：	
	E - m a i l：	
質 問 事 項		

(別紙)

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について、参加希望書類の提出をもって誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、官側の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びにこれらの提出書類から確認できる範囲での個人情報警察に提供することについて同意します。

記

1. 次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

(1) 契約の相手方として不適当な者

ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

オ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(2) 契約の相手方として不適当な行為をする者

ア 暴力的な要求行為を行う者

イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

エ 偽計又は威力を用いて会計課長等の業務を妨害する行為を行う者

オ その他前各号に準ずる行為を行う者

2. 暴力団関係業者を再委託又は当該業務に関して締結する全ての契約の相手方としません。
3. 再受任者等（再受任者、共同事業実施協力者及び自己、再受任者又は共同事業実施協力者が当該契約に関して締結する全ての契約の相手方をいう。）が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。
4. 暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は再受任者等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、発注元の契約担当官等へ報告を行います。

(別添様式)

令和 年 月 日

環境省大臣官房会計課長 殿

所 在 地

商号又は名称

代表者役職・氏名

令和7年度環境放射線等モニタリング調査等業務に係る
参加希望書類の提出について

標記の業務について、当社において実施することを希望します。
応募要件を満たしていることを、添付資料のとおり証明します。
なお、書類の提出にあたり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約します。

- | | |
|------------------|-----------|
| (1) 技術力に関する要件 | (様式1) |
| (2) 業務執行体制に関する要件 | (様式2) |
| (3) 業務実績に関する要件 | (様式3、様式4) |
| (4) 会社概要等 | (様式任意) |

(担当者)

所属部署：

責任者名：

氏 名：

TEL ：

E-mail ：

(様式1) 技術力に関する資料

- ① 募集要領3(2)①の能力及び要件を満たすことがわかる書類を提出すること。
(例：使用する機器及びその保有台数についての書類、契約書・報告書の写し等業務実績を証明する書類)

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。

なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

- ② 募集要領3(2)②の能力を満たすことがわかる書類を提出すること
(例：使用する機器、放射化学分析を行う施設の概要、契約書・報告書の写し等業務実績を証明する書類)

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。

なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

(様式2) 業務実施体制に関する資料

- ① 募集要領3(3)①の体制を有することがわかる書類を提出すること
(例：業務に従事する技術者の数、及び各技術者の有する類似業務実施実績がわかる書類)

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。
なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

注4 実施実績を有する場合には、契約書・報告書の写し等を8部添付すること。

- ② 募集要領3(3)②の体制を有することがわかる書類を提出すること
(例：業務に従事する技術者の数、及び各技術者の有する類似業務実施実績がわかる書類)

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。
なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

注4 実施実績を有する場合には、契約書・報告書の写し等を8部添付すること。

- ③ 募集要領3(3)③の体制を有することがわかる書類を提出すること
(例：業務に従事する技術者の数、及び各技術者の有する類似業務実施実績がわかる書類)

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。
なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

注4 実施実績を有する場合には、契約書・報告書の写し等を8部添付すること。

(様式3) 業務実績に関する資料

- ① 広域にわたる複数の測定地点において、複数の測定機器による満3か年以上の継続的な放射線及び放射性物質の常時監視業務を行った実績を有することがわかる資料を提出すること。

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。
なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

- ② 原子力事象等が発生した場合、政府等からの要請に基づく緊急時対応が可能となる能力を有することがわかる資料を提出すること。

注1 本様式は、A4 2枚までとすること。

注2 図面・図表等を用いる場合には、当該図表等と本文の関係が分かるように明示すること。
なお、この場合図表等は枚数には含めない。

注3 本様式は、内容を変えない程度に修正を加えて使用して差し支えない。

(様式 4) 業務実績に関する資料

(提出業者名)

業 務 名			
発 注 機 関 名 (住 所)			
下請を行った場 合の受託企業名 (受託形態)			
履 行 期 間			
業 務 の 概 要			
技 術 的 特 徴			
管理技術者の 従 事 の 有 無			

注 1：令和 7 年度環境放射線等モニタリング調査等業務に係る参加希望書類の募集要領の 3－(4)の要件に関する資料については、本様式により提出すること。

注 2：受託形態は、「委託契約」「請負契約」「その他（ ）」により記載すること。

注 3：業務の概要の欄には、調査等の内容を具体的かつ簡潔に記載すること。

注 4：実績を証明するものとして、契約書の写しや報告書の写し等を添付すること。